

# VIBRASOUND

## 健康と人間の潜在力の未来についての考察

インナーセンス社(INNERSENSE INC.) 発行

翻訳： カガミサラ

■この現代科学における医療のほぼ全分野で、逆症療法薬(allopathic medicine=治療中の疾患とは逆の症状を起こす薬によって治療する方法一訳注)の効果は証明されています。しかしながら、それでも患者のなかには、通常の治療過程では効果のない人もいます。現在、科学的論拠としては、このような治療の失敗の多くは、精神的情緒的あるいは霊的に適合できないために、個人個人の「適応能力」を「妨げる」ような反応が起きるためだという考え方が、大勢を占めています。このために、あらゆるセラピー(療法)は相変わらず効果が現れにくいこともあれば、時には完全に病気の進行を止めたりすることもできるのです。いいかえれば、個人の知覚と「心の状態」の双方が、多くの疾患の進行の経過や最終的な結果に影響を及ぼす、ということを示しています。

人間の知覚と、それに関係する人間の意識のさまざまなレベルについては、多くの学問的研究が行われています。その結果、これらのさまざまな意識状態が、自己の内なる世界、あるいは自己を取り巻く世界に対する、知覚を左右すると同時に、人間の健康や幸福感に多大な影響を与えるということが明らかになってきました。

■ヴァイブラサウンド(Vibrasound)という新しいテクノロジーはもともと、これら人間のさまざまな意識状態を探求するための実験的機器として開発されたものですが、現在では世界中の家庭やオフィスでも広く使われています。さらに、プロフェッショナルなタイプのは、種々の医療セラピーにおいて補助的に用いられて、効果を挙げています。

光、音、音楽、及びヴァイブレーション(振動)の効果については、古くからよく研究され、多くの資料が存在しています。長い間明かされなかった、その驚くべき秘密と、その遺産が示唆する医療の未来のすばらしい可能性が、今ようやく最新の研究によって明らかになってきました。ヴァイブラサウンドは、20年にわたる、「人間の心と身体に及ぼす、光、音、音楽、ヴァイブレーションなどの振動性現象の影響」に関する研究の結晶であり、医療現場でのさまざまな形の研究においては、セラピーの前後にヴァイブラサウンドが使用されています。

「……脳に伝えられるメッセージを真に効果的に伝達する、まさしく今日考え得る限りでは、最高の手段といえるだろう……」

Tom Budzynsky 博士—ワシントン、ベルビュー、聖ルカ医療センターの行動医療(Behavioral Medicine)部長

「ヴァイブラサウンドはヒーリングの概念に、飛躍的な革新をもたらすものだ。ほとんどすべての形式のセラピーに適用することができるが、最もすばらしい可能性は、細胞の記憶を変容させることができるという点にあります。それは、私の医療という行為をすっかり変えてしまいました！」

Micheal Galitzer 氏—ロサンゼルス、American Health Institute の生体エネルギー療法 (Bio Energetic Medicine) 専門医

「私は、ヴァイブラサウンドを、健康や創造力、そして幸福への可能性を、中毒の心配もなく、無限に広げることのできる、最もパワフルな道具だ、と考えている」

Tal Schaller 氏、—スイス、ジュネーブ、医師、ソレイユ財団 (Foundation Soleil) 理事

「マインド・フィットネス・テクノロジー (心の調和のための技術) についていえば、まさしくヴァイブラサウンドは傑作中の傑作だ！私の患者の多くは、ヴァイブラサウンドをこれまでの人生で最もスリリングな体験のひとつに挙げている」

Norman Shealy 博士—ミズーリ州、スプリングフィールド、シャーリー研究所 (Shealy Institute) 所長、医学博士。

「100人の患者にセッションを行って、私は、それまで聞いたこともないほどの進歩を報告することができる。患者達は次のセッションを待ち切れない思いでいるのだ！」

Peter Welling 氏—ニューヨーク州、Westslip、Welling Center 医師

「歯科治療に際して、ヴァイブラサウンドを使用すると、TMJシンドローム (顎関節症症候群—顎の交合にずれが生じ、関節に炎症が起こる症状。耳なりや肩凝りなど種々の症状を引き起こす。現代歯科医学の大きな問題のひとつ—訳註) などの歯医者恐怖症の治療が容易になることが証明された。その成果と可能性は実にエキサイティングだ！」

James Rota 博士—歯科学博士(UCLA), Dental Engineer (歯科技術者)

「催眠療法中、より深く、より楽しい状態をつくりだしてくれることで、ヴァイブラサウンドは、私の精神科医としての治療行為に大きく貢献してくれています。治療という点から見れば、それ

はずばらしい利益なのです」

James E Kirkham 氏—テキサス州、ホウストン、医師

「生命にかかわるような病気を扱う、私の仕事では、その状態の底に深く潜んでいる、精神的、情緒的、肉体的なエネルギーに近付くために、ヴァイブラサウンドは欠くことのできない補助となっています。ヴァイブラサウンドを組み合わせることが、私の患者達にもたらしたものは、計り知れないくらい素晴らしい……真の意味で力を合わせておこなう、まさに最高のヒーリングです！」

Darby Long 氏—文学修士、精神療法家、Life Change Specialist ライフ・チェンジ・スペシャリスト(生活/人生変革の専門家) サンタ・フェ、ロサンジェルス

「ヴァイブラサウンドは、心と身体を調和させ、同調させ、統合をもたらしてくれる実にパワフルな道具である！」

Les Fehmi 博士—The Princeton Behavioral Medicine & Biofeedback Clinic 院長

「セルフコントロールという賜物は、我々みんなの欲し、渴望するものです……ヴァイブラサウンドは、意識統合のために開発された器具としては、現在最も進んだものであるといえるでしょう！」

Anthony Robbins-作家、講師、何千人ものトップクラスのプロフェッショナルを対象に、自己開発トレーニングを行っている。カリフォルニア州、サンディエゴ、Robbins, ResearchInc.

「……あなたの作品(仕事)に畏敬と賞賛をもって！」

Larry Dossey 氏—医師、著書に『空間、時間と医学 (Space, Time and Medicine)』『健康体験を発見する (Discovering the experience of Health)』『魂の回復 (Recovering the Soul)』等。

■ヴァイブラサウンドの操作原理は、「**感覚共振の理論**」に基づいています。「感覚共振」とは、R.E.S.T.に用いられているような感覚遮断(sensory deprivation)、あるいは(ヴァイブラサウンドのように)一貫した感覚的刺激を与えるプロセスを通して、脳の主な感覚のメカニズムがすべて同調させられた時に生じる、特定の心の状態を指す言葉です。

感覚共振という視点から見れば、人間のさまざまな心の状態すべては、もともと内的外的、双方からの感覚のインプット(刺激/情報)に対する反応から発したものだといえます。感覚というのは、自己の内部及び外部環境と私達とをつなぐ、唯一のものです。あいにく脳によって、ひとつの一貫した体験としてまとめられない限り、これらの感覚メカニズムは、インプットされた情報を首尾一貫したものとなるまで分析し続け、体験の統合を妨げる実質的な障壁となってしまい

ます。このような感覚のバランスのくずれは、分析を優越させる結果、体験を損なうことになるという注意すべき習慣を導くことが、近年の研究によって明らかになってきました。

新たにインプットされるそれぞれの感覚は、まず「体験」されますが、直ちに「概念化」され「分析」されます。このインプットを同調させれば、人生経験を増し、概念化に対する脳の欲求を減少させることになるでしょう。これは、リラックスしたり、ストレスに影響されないようにする、個人の能力を高めるためには不可欠の条件です。

このような感覚インプットにひとがどのように反応するのかについて、常に注意しながら、構築された生活の中でこの両極にあるふたつのバランスをとることもできる、という研究結果がでています。さらに、ひとにリラックスする方法を教えるには、この熟練した注意深さをもって、「真っ向から」ストレスを対処するよう教えることもできます。

■またさらに、感覚共振の観点から見れば、人間の意識をオーガナイズ（組織）し、コントロールするのに、最も重要なのは、網様体活性化システム（RAS）であるといえます。このRASには、4つの主な機能があります。

1. 感覚のインプットに優先順位をつけます。大勢ひとのいる部屋のあちこちで、あなたの名前が多く話題にのぼっているような場合に起きる、いわゆる「カクテルパーティ」現象の原因となります。さらに、空港や駅の近くに住んでいて、騒音にさらされ続けていると、次第に気にならなくなるように、インプットされた感覚の優先順位を低くすることもできます。

2. 意識の注意を適切な脳の中央部（小脳）に集中させ、体験を互いに関連させていきます。

1. Medulla 延髄
2. P o n s 橋
3. Cerebellum 小脳
4. Midbrain 中脳
5. Limbic Temporal Lobes 側頭葉
6. Parietal / Occipital Lobes 頭頂葉／後頭葉
7. Frontal Lobes 前頭葉
8. Interbrain Ventricles 間脳室

3. 視床下部に働きかけて、自律神経系を調整します。この方法で、交感神経系と副交感神経系のコントロールをします。

4. 脳の電氣的活動の周波数と振幅を調整して、「覚醒度 (level of arousal)」を決定します。その結果として現れる脳波活動の波形は、意識状態やそれぞれ特徴のある注意力の度合と、直接関係しています。

■このようにRASは人間の意識の重要なプロセスの多くを調整し、コントロールしています。明らかにRASは、私達の意識を手近な問題に「集中」させておくのに適した、生存のためのメカニズムや機能を発展させてきました。残念ながら、意識がこの日常的な覚醒状態にあるときは、ほとんどの場合、低次の「無意識」の脳内で、実生活であるとか、社会的あるいは相対的な問題に意識が集中させられていて、創造性、至福、あるいは幸福感など、高次の脳の機能に近づくことを妨げられているのです。

この生存形式は、長年の慢性的「交感」神経系の状態（戦うか逃げるか式反応）によって形成されていき、それに従って、蓄えたエネルギーを流出させたり、「副交感」神経系（リラクゼーションや免疫反応）を妨げたりします。さらにこの「通常の」目覚めている状態にある間は、常に、「狭い範囲で客観的」という表現にぴったりの注意力の使い方をしています。これとは逆の「広く熱中」という注意力の使い方は、通常、瞑想、イメージ誘導、鎮静剤などによって覚醒度が低くなったり、あるいは恋愛、性交、興奮剤や、感情的靈的な変革、またはパフォーマンスや競争などで高められた意識など、特別な活動を続けることで覚醒度が増大することによって得られる「変容された」意識状態を通じてしか、近づくことができません。言い換えれば、脳の覚醒度を高くしたり、低くしたりすると起こる、「無意識」の活動の度合が、高くなったり、低くなったりした時に近づけることを示しています。

■また、ふたつ（狭いと広い）の対極に有る可能性（潜在力）の真ん中に位置するように、心の「焦点を開放 (Open Focus)」すれば、両方の状態に同時に到達することが可能であることも明らかになっています。この副交感神経の反応と同時に、交感神経系の刺激が起こり、交感神経の「戦うか、逃げるか」式の反応を、活力を与えたり、学習意欲を高めたり、至福を感じるようにプログラム（挑戦）するよう命じます。この「無意識」の右脳の支配する状態が、「超意識」へ到達するようにしむけるのです。多くの経験豊かな研究者によって報告されている、脳波活動を変化させることが、さまざまな「変容状態」を導くという考えは、明白な証拠によって確実なものと認められてきました。ひとがどのように注意力を使っているかということに注意を払ったり、インプットされた感覚にどのように反応するかに気づいたりすることは、自己の意識をコントロールするという点で、計り知れない進歩をもたらします。

入手できる限りのデータから判断するなら、RASの主な目的は、

- (1) 安全を確保すること
- (2) 感覚体験を首尾一貫したものにする、

という点にあるようです。常に安全で保障された状態を求め、すべてをまとめあげ、「意味のある」体験にすることを欲しているのです。RASの神秘的な働きを説明するための、さまざまな理論が長年にわたる研究の末、考え出されてきましたが、それらは「戦うか、逃げるか」式の反応を止め、心理学的恒常性（高等動物が体内の安定を保とうとする傾向一訳注）を明らかにするための数々のテクニックの開発に応用されています。感覚遮断やバイオフィードバック、周波数追従反応（エントレインメント／脳波誘導 **Entrainment**）の強力な効果については、さまざまな研究や報告がなされています。理論としての感覚共振は、これまでの多くの理論を結びつけて、魂と心と身体の関係についての首尾一貫した理解を打ち立てようと試みたものであるといえます。

■ ヴァイブラサウンドは、RASを同期化し、異なる心の状態に近づくために、現段階で解っていることのすべてを結合した「最新技術の結晶」ともいべき感覚共振機器です。R.E.S.T.や脳波状態認識、(ESPや座禅など)種々の瞑想法、周波数追従反応、バイノーラル（両耳）ビート、及び光音同期化などの理論から開発されたテクニックの実用的で定評ある側面が組み合わせられ、さらに音楽の美しさとパワーを取り入れて、上記の感覚共振の効果を高めています。あらゆるセラピーに応用したときの音楽のパワーと有効性については、多くの学問的研究文献が提出されています。意思、情緒的状态、及び音楽の種類など種々の要因にもよりますが、（音楽を取り入れることは）精神的肉体的な傷害や、強制的な感じを与えることなく、異なる心の状態に至ることを可能にしてくれます。

ヴァイブラサウンド体験によって造りだされた変容された意識状態の影響は、ひとそれぞれに異なっていますが、大体は、強い喜びが核になっていることが多いようです。この喜びにあふれた状態は、十分な裏付けのある多くの医学的研究計画の主題となっています。このような喜びの感覚によって、自然な形で生成された脳内の化学物質は、人間にとって、最も強力な治療効果を及ぼし、痛みを取り去る効果の高い化学物質であることが解っています。このような化学物質を発生させることのできる心の状態に至ることは、私達の人生に劇的な変革をもたらすと同時に、「自己療法 **Self-Healing**」という素晴らしい概念のすべてを物語ってくれます。

主な感覚メカニズムである、聴覚、視覚、体性感覚を、楽しく、無害な方法で同期化させるような音楽を用いることで、ヴァイブラサウンドは、安心と感覚の一貫性というRASの欲求を満たすのに必要な条件を造りだします。その結果、支配的でなく、批判的でもない脳の活動を導くことで、個人の自助プログラムや多くの専門的医療行為の前後に、それを助けるものとしてすばら

しい成果をもたらします。

そのうえ（ヴァイブラサウンドによる脳の活動の誘導は）安全で強制感もなく、操作も容易で、患者も医者や専門家も楽しみながら行うことができます。ヴァイブラサウンドのテクノロジーは現在、医師、歯科医、精神科医、心理療法や理学療法士その他の専門家などによって日常の医療現場に応用されていますが、そこで明らかになった事実や健康と人間の隠された潜在力の未来を考えると、ほとんどの方が興奮を禁じ得ないでいます。

あなたもどうぞ、この新しい領域に踏み出してみてください

ヴァイブラサウンド総輸入元

株式会社エムエムエイト

193-0834

東京都八王子市東浅川町 917-4-101

<http://style21.co.jp/>

050-1391-2482

